

狭山工業団地拡張地区 基盤整備事業発掘調査

一鳥ノ上・小山ノ上・上双木遺跡の発掘調査概報一

社会教育課 文化財担当

主任 三ツ木 康介

鳥ノ上・小山ノ上・上双木遺跡概要



【種類】
集落跡・製鉄址
【時代】
縄文・古墳・奈良・平安
【立地】
入間川河岸段丘3段目

検出遺構
【種類】
集落跡
【時代】
奈良・平安
8世紀後半から9世紀後半

調査経過

【4月】

16日A区表土除去開始。土壌6基。24日A区調査終了。

【5月】

7日B区調査開始。住居跡7軒、掘立柱建物跡4棟、土壌20基等。

【6月】

27日B区調査終了、C区調査開始。住居跡1軒、土壌4基等。

【7月】

9日D区調査開始。住居跡1軒、掘立柱建物跡2棟、土壌11基等。

24日E区調査開始。住居跡6軒、掘立柱建物跡1棟、土壌8基等。

25日CD区調査終了。

【8月】

21日G区調査開始。住居跡3軒、土壌2基等。

23・24日発掘体験事業。



A区表土剥ぎ



B区空撮



CD区空撮



E区空撮



発掘体験事業風景

調査経過 2

【9月】

13日E区調査終了。28日発掘体験事業。

14日F区調査開始。住居跡7軒、掘立柱建物跡4棟、溝2条、土壇20基等。

【10月】

F・G区調査中。

【11月】

3日G区調査終了。

22日H区調査開始。住居跡7軒、溝2条、土壇4基等。

【12月】

3日K区調査開始。住居跡4軒。

10日J区調査開始。住居跡3軒、土壇3基。

20日I区調査開始。住居跡7軒、溝1条、土壇33基等。

F区空撮



H区空撮



G区空撮



J区空撮



調査経過 3

【1月】

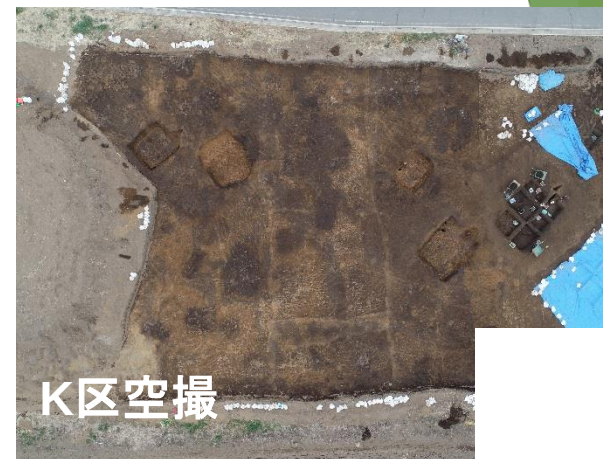
17日H区調査終了。24日J区調査終了。31日K区調査終了。

【2月】

L区調査開始。住居跡12軒、掘立柱建物跡9棟、柵列1条、土壇2基以上等

M区調査開始。住居跡10軒、土壇1基等。

平成31年2月末時点
住居跡68軒、掘立柱建物跡18棟、溝5条(同一の溝含む)
柵列1条、土壇多数



K区空撮



L区調査風景
(北から)

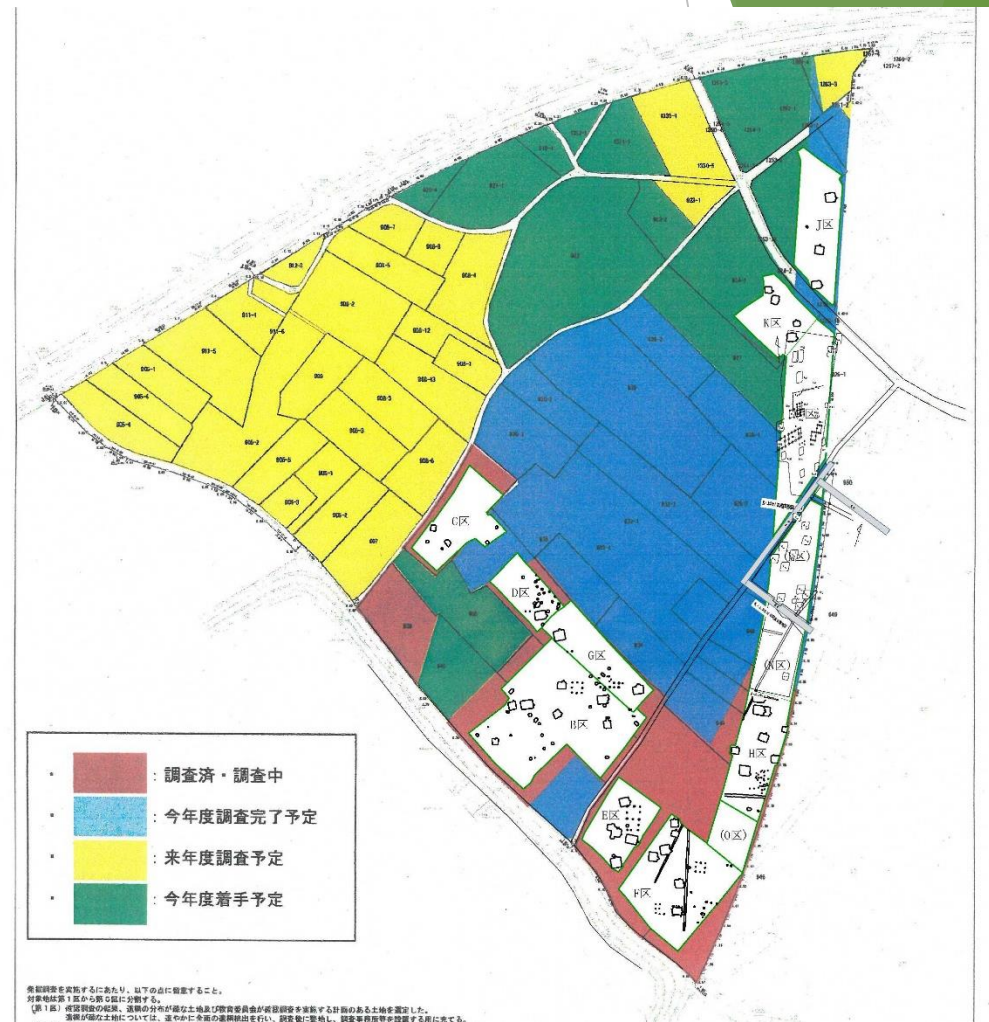


L区調査風景
(南から)



M区調査風景
(北から)

全体像



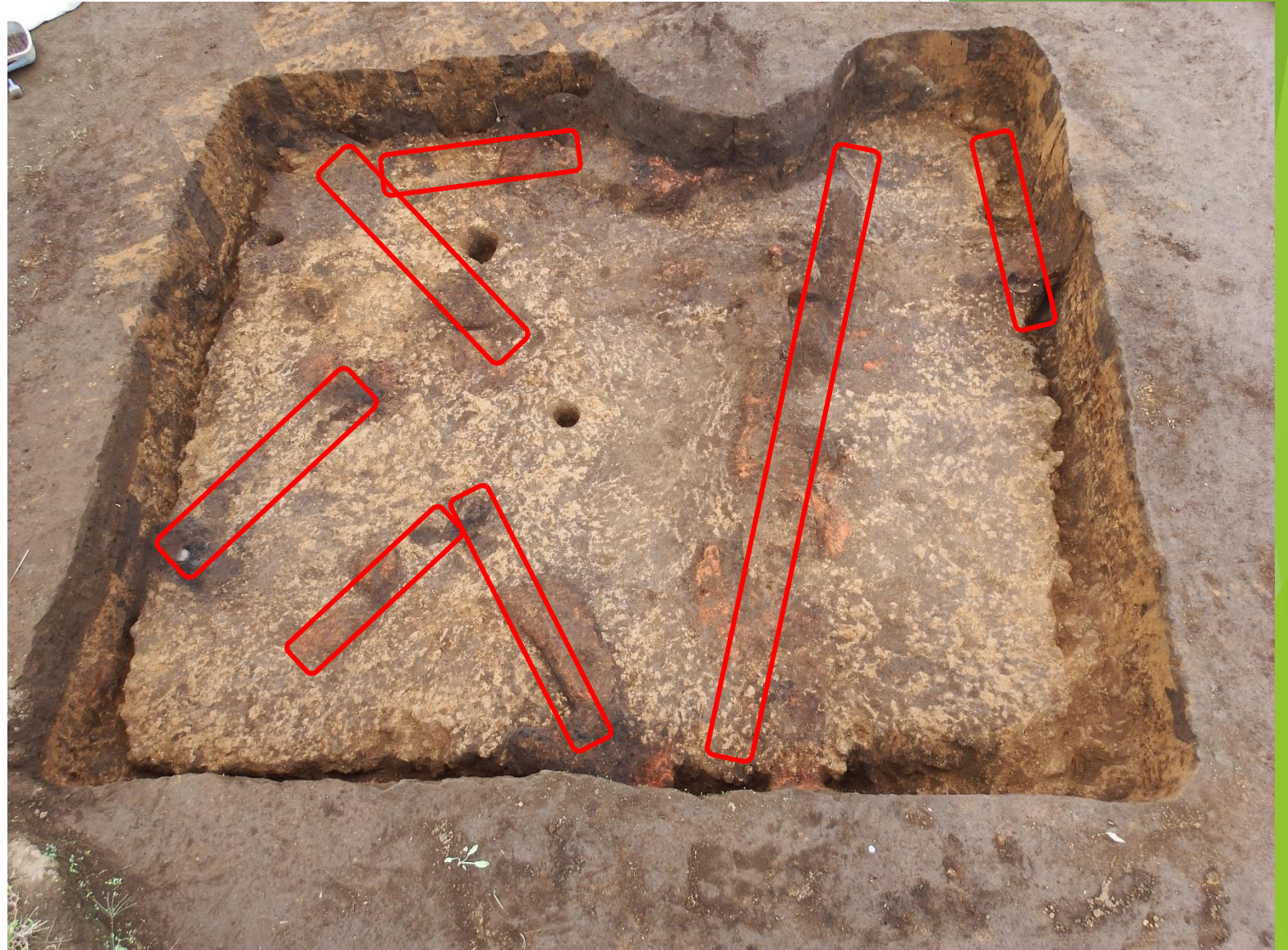
特徴的な住居 1

火災住居

火事によって消失したと推定される住居跡。

→炭化物および焼土が多く検出されており、床の一部が被熱して硬化している。

本住居は炭化物や遺物が少なかったため、消失後整理されたものと考えられる。



特徴的な住居 2

巨大住居？

ではなく、重複住居です。

2軒の住居痕が近い場所に建てられています。
新旧関係は上の住居が古く、下の住居跡が新しいです。

ちなみにこの住居跡の深さは現時点で検出された遺構内ではもっとも深い約1mです。



住居の特徴

カマドの位置が右にずれている！



掘立柱建物群

L区にて検出。

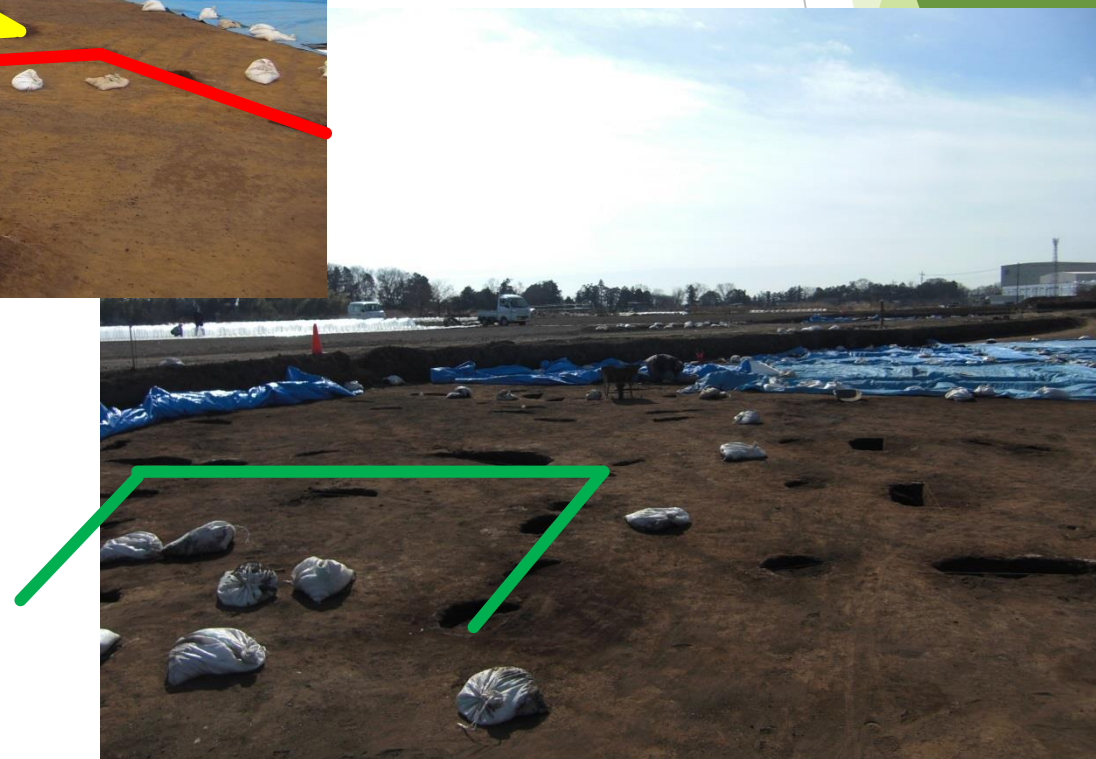
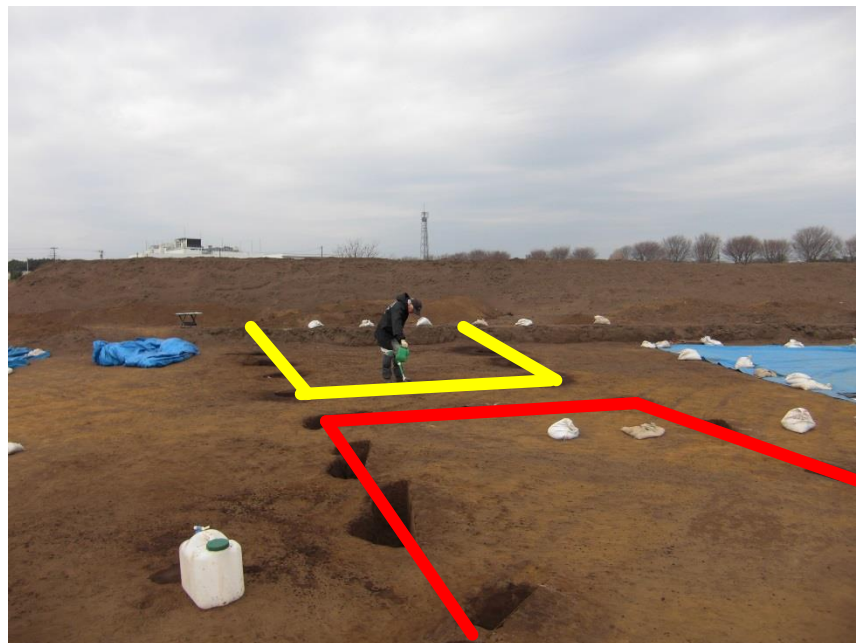
東西に並んで検出。

(確認できる範囲)

2 × 3 間 2 棟

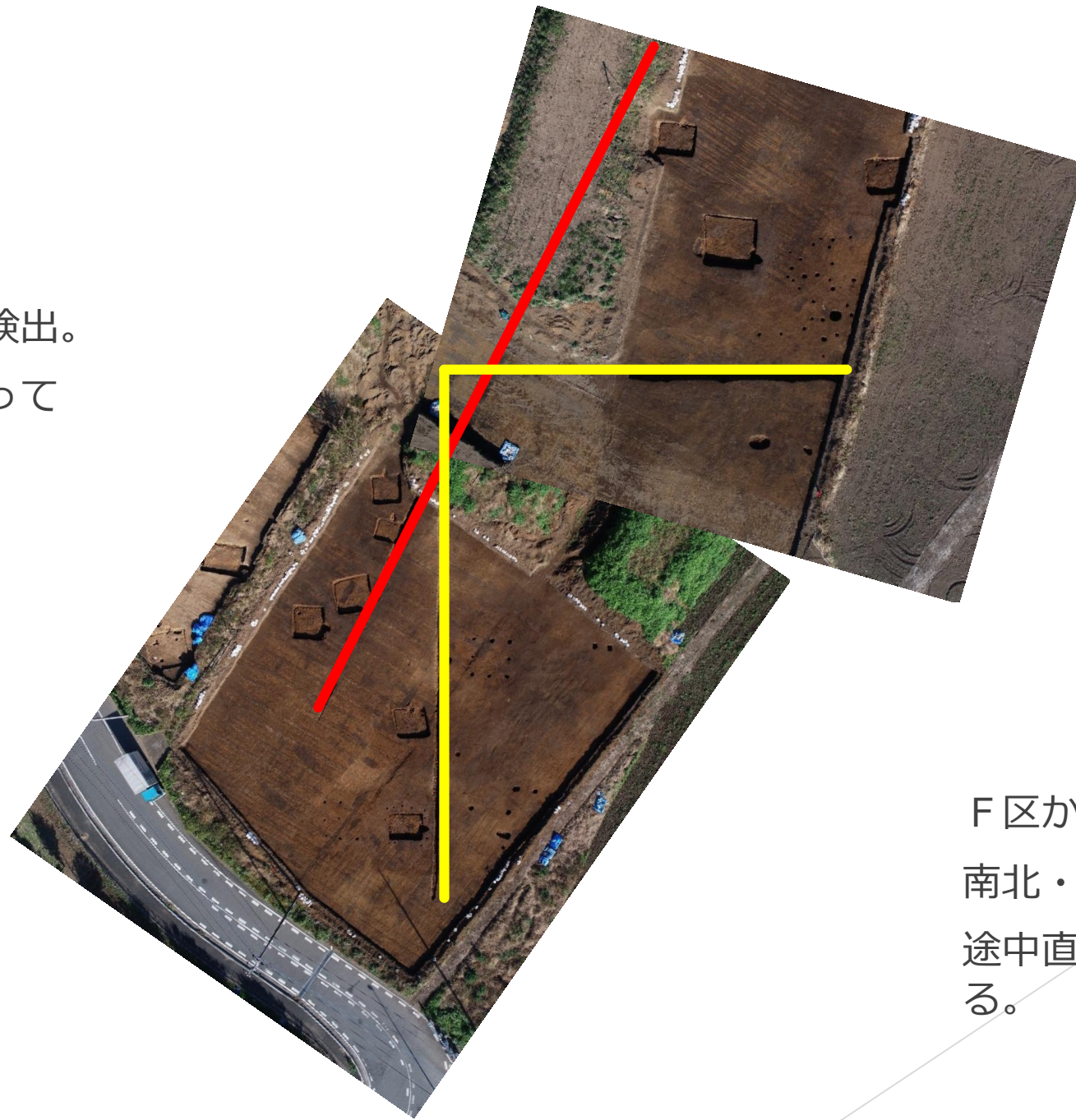
2 × 2 間 2 棟

1 × 1 間 1 棟



溝

F区からM区にて検出。
北東から南西向かって
検出。



F区からH区にて検出。
南北・東西に検出。
途中直角に曲がっている。

出土遺物（出土状況）



右から
須恵器坏
須恵器坏
土師器甕
須恵器皿
須恵器坏（碗）



土師器甕

- ・他に、円面硯の破片、鉄釘、鉄鎌、砥石などが出土している。
- ・須恵器の産地は、基本的に南比企産と東金子産。一部県外のものが混じる。
- ・東金子産の須恵器が多数を占める。
- ・時期は8世紀第2四半期～9世紀第3四半期。



内黒土器



鉄鋤

出土遺物（蛇足）



須恵器坏



正解は講座の中で！

さて、上の須恵器ですが、どれが一番古いでしょうか？

埋蔵文化財発掘体験事業！

【実施日】

平成31年3月28日・29日の2回

【時間】

9時30分～12時00分

※適宜休憩を入れます

【体験内容】

発掘作業体験

【定員】

各回10名 計20名

【参加費】

1人300円（保険代）

【申込期間】

平成31年3月15日（金）～

【申込方法】

社会教育課窓口にて申込用紙を記入してください。その際に参加費の300円を徴収

【注意事項】

先着順のため、満員になり次第受付を終了します。

天候不順等により中止する場合があります。中止となった際はお支払いいただいた参加費は返却できません。

参加をお待ち
しています

